

## 平成22年度 第8回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成22年11月16日（火） 午後3時00分～午後4時50分

場 所：県庁10階 管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，  
経営企画課長，ほか  
病院 各県立病院長，中央病院副院長，  
各県立病院看護局長，各県立病院事務局長 ほか

### (1) 平成22年度決算見込（9月末）について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成22年度の決算見込（9月末時点）について示す。

#### 【質疑等】

**管理者：**海部病院は踏ん張ってくれているが，三好病院は勤務医不足の影響が出ている。また，それを中央病院が支えてくれている。

**中央病院：**診療報酬の改定が中央病院のような500床規模の病院に有利に働いたと思う。ただ，お産が少ない中で経営的にどうやっていくか。

**管理者：**三好病院はどうか。

**三好病院：**4月の診療報酬改定によって収益が少し上がる予定だったが，入院患者数の伸びが鈍い。病床利用率も70数%となっている。現在，三好病院に医師は23人いるが，そのうち2人が3か月交代で入れ替わっていて，医師数は実質21人だ。

**管理者：**そこでどうするかだ。

**三好病院：**入院患者の在院日数を1日延ばす。それぐらい危機感を感じている。

**管理者：**そんな方策ではなく，もっと本質的で展望が開けるような方向で考えてほしい。救急患者数，救急入院患者数は微増している。紹介患者数と逆紹介患者数を増やして，「地域医療支援病院」の承認を取得できるようやってほしい。紹介患者と逆紹介患者を増やせば，それが新規患者となって返ってくるはずだ。在院日数を1日増やすようなことはしなくて良い。必ず逆紹介患者を増やす。それは医師の過重労働の軽減にも繋がる。もう少しで「地域医療支援病院」の承認が取れるから，頑張ってもらいたい。

**三好病院：**そういう方向でやっていく。

**管理者：**海部病院はどうか。

**海部病院：**内科については多少充足してきている。1月から3か月間がどうなるか。

**管理者：**訪問診療を開始してから，病院全体に活気が出ている。

**管理者：**21年度病院事業決算では，他会計から約28億円借りてやっと，約14億円の内部留保資金を確保しているが，他会計借入金を除いた「実質内部留保資金」は，マイナス約14億円の不良債務が発生している状況。しかも，中央病院

と三好病院の改築によって、他会計借入金を入れてでも、不良債務が発生する可能性は高い。「内部留保資金」が40億円あれば何とかかなると思うので、あと2年で「内部留保資金」を20億円貯めておきたい。

**管理者：**海部病院はすでに、平成21年度決算で11億円の不良債務が発生しており、「不良債務比率」は、11億円不良債務÷12億円医業収益で約92%。不良債務比率が10%を超えると、総務省から「経営健全化指定団体」に指定され、さまざまなペナルティを課せられ、看護師を一人確保するにも、輸液ポンプを一台買うにも総務省の許可が必要になる。しかし、海部病院がこの指定から外れているのは、徳島県病院事業全体としては不良債務を出していないためである。海部病院がこのことを負担に感じる必要はないが、しっかりと認識しておいてほしい。

## (2) 「医療の確保と健全化を進める会」事前プレゼン

### 【説明】 病院局総務課及び経営企画課

地方公営企業法全部適用以後の県立病院の取り組み及び中央病院、三好病院の改築事業について説明する。

### 【質疑等】

**管理者：**医師の人事交流がもっと充実すれば良いのだが。

## (3) 堅実な危機管理体制の構築について

### 【説明】 中央病院

平成21年から最近までの災害医療への取り組みについて説明する。

### 【質疑等】

**管理者：**現在、中央病院のDMATはいくつあるのか。

**中央病院：**3つです。

**管理者：**3チームに医師は何人いるのか。

**中央病院：**6人です。

**管理者：**看護師は何人いるのか。

**中央病院：**6人です。

**管理者：**DMATを派遣して、ほかを助けるのも重要だが、中央病院自体が被災した場合についてはどうするのか。

**中央病院：**「災害対策マニュアル」があるので、マニュアルに沿って対応する。

### 【説明】 三好病院

三好病院における救急勉強会やBLS+AED講習会、災害訓練の実施状況及び災害対策マニュアル等の改訂状況について説明する。

### 【質疑等】

**管理者：**救命救急医がいなくなったら、誰がリードして救急勉強会をやってくれているのか。

**三好病院：**その他の医師や看護師が中心となってやってくれている。

**管理者：**中央病院は救急勉強会をやっているのか。

中央病院：1～2か月に1回やっている。

管理者：BLS講習会を受講した人がちゃんと分かるようになってきているのか。

三好病院：BLS講習会受講者はハートマークのシールを貼っている。

管理者：受講した人と受講していない人がよく分かるようにしてほしい。

三好病院：DMAT隊員に直接派遣や要請のメールが届く件については、どうすればよいか。

管理者：病院の危機管理マニュアルはどうなっているのか。DMATは病院局としての課題である。

三好病院：三好病院も病院自体が被害にあった時にどうするかという課題がある。

#### 【説明】海部病院

海部病院は、堅実な危機管理体制の構築として、医療事故、災害等に対するマニュアルの制定や防災訓練の実施等、ソフト面の対策及び電気・水・医薬品等の確保や消化設備・避難器具の設置といったハード面の対策について説明する。

#### 【質疑等】

管理者：地震については、どの病院も対応を考えなければならないが、海部病院については津波をどうするかという課題もある。結論から言えば、違う場所に移るしかないが、海部病院だけではなく、海部郡全体で、再編ネットワーク等を視野に入れながら、医療を含めた安全・安心の問題を考えなければならない。

海部病院：お金はないし、海部病院が足を引っ張っている状況ではあるが、災害対応、危機管理の設備についてはギリギリまで使わせるのではなく、若干余裕を持った更新をお願いしたい。

管理者：安全・安心、良質な医療を大前提に、みんなが知恵を出して、しんどい時期を凌いでいかなければならない。「公共性の確保」と共に「経済性の発揮」が大事。しかし、経営基盤の強化は決して疎かにできない大事なことだが、「経済性の発揮」はあくまで手段。「公共性の確保」こそが本来の目的。そのためにも、「自立」と「自律」が自治体病院に必要な。

海部病院：それは理解しているが、設備の老朽化は日々進んでいる。危機管理の場合、海部病院では数百人の命がかかっている。設備がダメになってはいけない。単年度で一気に設備の補修等を行うことは無理だから、病院局と意思疎通を図りながら、計画的にやるべきだと思う。

管理者：病院局と病院でコミュニケーションをとりながらやってほしい。

#### (4) その他

- ・次月分（12月分）の病院局経営戦略会議の議題案について

#### 【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

次月分の「経営戦略会議」の議題について説明する。